# 平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月9日


上場会社名　SHO-BI株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7819　URL　http://www.sho-bi.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 寺田　一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 鎌形　敬史　TEL 03-3472-7890

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年9月期第3四半期 | 10,840 | 5.0 | 674 | △34.9 | 664 | △33.6 | 401 | △28.0 |
| 23年9月期第3四半期 | 10,325 | 6.9 | 1,035 | 24.0 | 1,001 | 8.5 | 557 | 3.3 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年9月期第3四半期 | 29.96 | ― |
| 23年9月期第3四半期 | 41.61 | ― |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年9月期第3四半期 | 10,628 | 4,709 | 44.3 |
| 23年9月期 | 10,740 | 4,441 | 41.4 |

(参考) 自己資本　24年9月期第3四半期　4,709百万円　23年9月期　4,441百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | ― | 0.00 | ― | 22.50 | 22.50 |
| 24年9月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 24年9月期(予想) | | | | 22.50 | 22.50 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年 9月期の業績予想(平成23年10月 1日～平成24年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 13,850 | 3.2 | 720 | △43.2 | 700 | △42.4 | 410 | △36.4 | 30.57 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年9月期3Q | 13,410,000 株 | 23年9月期 | 13,410,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年9月期3Q | 85 株 | 23年9月期 | 85 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年9月期3Q | 13,409,915 株 | 23年9月期3Q | 13,409,915 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
（３）追加情報 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間（平成23年10月１日～平成24年６月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した生産活動の回復、被災地での復興需要の発現などにより国内景気は底堅く推移する一方、海外においては、欧州での債務問題に解決のめどが立たないことや米国景気の回復ペースが緩慢であることなどを背景に円高傾向が継続し、不透明感の強い状況が続きました。

このような状況の中で、当社は雑貨（ＺＡＣＣＡ）の総合企画メーカーとしてブランドを確立するため、平成24年１月に企業ロゴを一新し新たなビジョン体系を制定いたしました。また、営業部門と商品企画部門の更なる連携を図るとともに、「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品」への取り組みを強化するため海外事業部門を新たに立ち上げたほか、ｅコマース市場の拡大に対応するため自社ＥＣサイトをスタートさせました。加えて、自社企画商品の開発力とブランド力強化を目的にデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズとメイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」を市場に投入しＴＶＣＭを使ったマーケティングにも挑戦しました。さらに、海外市場開拓のため、中国を中心に現地の展示会へも積極的な出展を開始しました。

これらの結果、当第３四半期累計期間の売上高は10,840,276千円（対前年同四半期比5.0％増）、差引売上総利益は3,620,121千円（対前年同四半期比4.3％増）となりました。しかしながら、上記２ブランドの立ち上げに伴う広告宣伝費、販売促進費などの費用が先行的に発生したこと、海外市場の開拓や国内においても新たな販路の拡大を目指した営業活動の活発化に伴うコストの増加により、営業利益は674,580千円（対前年同四半期比34.9％減）、経常利益は664,470千円（対前年同四半期比33.6％減）、四半期純利益は401,743千円（対前年同四半期比28.0％減）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

＜ヘルス＆ビューティ事業＞

主要販売先である総合スーパーのヘルス＆ビューティー関連売場向けの売上は、業界が厳しい状況の中で、販売先との取引深耕を図り、自社ブランドであるデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズ及びメイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」などのアイメイク関連商品や美容情報誌「ｂｅａ’ｓ ｕｐ」とコラボレーションした新化粧雑貨シリーズ等の導入が順調に推移いたしました。また、ドラッグストア向け売上についても、新規販売先の獲得をはじめとして既存販売先との取引深耕により、同様の自社ブランド商品であるアイメイク関連商品や新化粧雑貨シリーズの「ｂｅａ’ｓ ｕｐ」等の販売が順調に推移いたしました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は、3,771,219千円（対前年同四半期比7.4％増）となりました。

＜ファンシー・キャラクター事業＞

総合スーパーのファンシー・キャラクター関連売場向けの売上は、業界が厳しい状況の中で、文具、ギフト商品、別注商品（注）等の自社企画商品の導入が概ね順調に推移いたしました。また、バラエティストア向けや卸売業者向けの売上についても、自社ブランドであるデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズ及びメイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」などのアイメイク関連商品や新化粧雑貨シリーズの「ｂｅａ’ｓ ｕｐ」等の導入が概ね順調に推移いたしました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は、5,749,079千円（対前年同四半期比1.4％増）となりまし

た。

（注）別注商品とは、販売先と共同で企画し、販売先に販売権があり発売元表示が当社である商品です。

＜その他事業＞

主要販売先でＯＥＭ商品の受注先である100円均一ショップ向け売上は、先方の在庫調整が一巡したことにより納期変更が少なくなったことに加えてＯＥＭ商品の販売が順調に推移いたしました。この結果、当第３四半期累計期間の売上高は、1,319,978千円（対前年同四半期比15.4%増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産）

①資産

当第３四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて112,391千円減少し、10,628,188千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて534,399千円減少し、6,489,660千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が339,228千円、商品が290,152千円増加し、現金及び預金が1,050,295千円、その他が120,605千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて422,008千円増加し、4,138,527千円となりました。これは主に、大阪本社移転に伴う不動産の購入などにより有形固定資産が963,738千円増加し、投資不動産の売却などにより投資不動産が366,878千円、投資有価証券の償還などにより投資その他の資産のその他が184,615千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第３四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて379,961千円減少し、5,919,108千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて801,466千円減少し、3,117,309千円となりました。これは主に、買掛金が78,081千円、短期借入金が200,000千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が442,500千円、未払法人税等が225,125千円、その他が363,507千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて421,504千円増加し、2,801,799千円となりました。これは主に、長期借入金が466,400千円増加し、社債が50,000千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第３四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて267,570千円増加し、4,709,079千円となりました。これは主に、利益剰余金が100,020千円、繰延ヘッジ損益が164,217千円増加（マイナスの減少）したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年８月９日に通期個別業績予想の修正を行っております。

平成23年９月期決算短信記載の「平成24年９月期の業績予想」との比較は以下のとおりであります。なお、詳細につきましては、平成24年８月９日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

平成24年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 14,500 | 1,320 | 1,300 | 730 | 54.44 |
| 今回修正予想(B) | 13,850 | 720 | 700 | 410 | 30.57 |
| 増減額(B－A) | △650 | △600 | △600 | △320 | |
| 増減率(%) | △4.5 | △45.5 | △46.2 | △43.8 | |
| (ご参考)前期実績 平成23年９月期 | 13,419 | 1,267 | 1,215 | 644 | 48.08 |

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第３四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

（３）追加情報

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．四半期財務諸表

### （１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（平成23年９月30日） | 当第３四半期会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,418,420 | 2,368,125 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,319,102 | 2,658,331 |
| 商品 | 820,885 | 1,111,038 |
| 貯蔵品 | 92,119 | 98,929 |
| その他 | 375,641 | 255,035 |
| 貸倒引当金 | △2,110 | △1,800 |
| 流動資産合計 | 7,024,059 | 6,489,660 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,072,081 | 2,035,820 |
| 無形固定資産 | 150,669 | 157,520 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資不動産 | 1,767,076 | 1,400,198 |
| その他 | 731,248 | 546,632 |
| 貸倒引当金 | △4,555 | △1,643 |
| 投資その他の資産合計 | 2,493,768 | 1,945,187 |
| 固定資産合計 | 3,716,519 | 4,138,527 |
| 資産合計 | 10,740,579 | 10,628,188 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,642,478 | 1,720,559 |
| 短期借入金 | － | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,004,700 | 562,200 |
| 未払法人税等 | 226,994 | 1,868 |
| 賞与引当金 | 124,561 | 99,840 |
| 返品調整引当金 | 29,700 | 29,800 |
| その他 | 890,342 | 503,041 |
| 流動負債合計 | 3,918,776 | 3,117,309 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 650,000 | 600,000 |
| 長期借入金 | 1,105,000 | 1,571,400 |
| 退職給付引当金 | 140,731 | 127,391 |
| 役員退職慰労引当金 | 371,650 | 382,008 |
| 資産除去債務 | － | 28,760 |
| その他 | 112,912 | 92,239 |
| 固定負債合計 | 2,380,294 | 2,801,799 |
| 負債合計 | 6,299,070 | 5,919,108 |

(単位：千円)

| | 前事業年度<br>(平成23年９月30日) | 当第３四半期会計期間<br>(平成24年６月30日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 545,500 | 545,500 |
| 資本剰余金 | 264,313 | 264,313 |
| 利益剰余金 | 3,868,256 | 3,968,277 |
| 自己株式 | △52 | △52 |
| 株主資本合計 | 4,678,017 | 4,778,038 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △10,831 | △7,499 |
| 繰延ヘッジ損益 | △225,677 | △61,459 |
| 評価・換算差額等合計 | △236,508 | △68,958 |
| 純資産合計 | 4,441,509 | 4,709,079 |
| 負債純資産合計 | 10,740,579 | 10,628,188 |

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第３四半期累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 10,325,581 | 10,840,276 |
| 売上原価 | 6,854,660 | 7,220,055 |
| 売上総利益 | 3,470,921 | 3,620,221 |
| 返品調整引当金戻入額 | 32,400 | 29,700 |
| 返品調整引当金繰入額 | 31,400 | 29,800 |
| 差引売上総利益 | 3,471,921 | 3,620,121 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,436,189 | 2,945,540 |
| 営業利益 | 1,035,731 | 674,580 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,397 | 4,800 |
| 受取配当金 | 4,685 | 6,268 |
| 不動産賃貸収入 | 175,814 | 163,864 |
| その他 | 7,661 | 15,801 |
| 営業外収益合計 | 193,558 | 190,734 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 34,758 | 25,886 |
| 不動産賃貸費用 | 63,669 | 56,317 |
| 為替差損 | 111,295 | 110,214 |
| その他 | 18,353 | 8,426 |
| 営業外費用合計 | 228,076 | 200,845 |
| 経常利益 | 1,001,214 | 664,470 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 68,542 |
| 貸倒引当金戻入額 | 60 | － |
| 特別利益合計 | 60 | 68,542 |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | － | 22,649 |
| 投資有価証券評価損 | 15,540 | － |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 6,284 | － |
| その他 | － | 23 |
| 特別損失合計 | 21,824 | 22,673 |
| 税引前四半期純利益 | 979,449 | 710,340 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 401,189 | 249,695 |
| 法人税等調整額 | 20,302 | 58,901 |
| 法人税等合計 | 421,491 | 308,597 |
| 四半期純利益 | 557,958 | 401,743 |

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社は、化粧雑貨、服飾雑貨及びキャラクター雑貨等の商品を幅広く取り扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。